

主な出来事

【内政】

- ボンゴ大統領によるングニエ州訪問
- 第3回ガボン・マラソン大会の開催

【外政】

- オナ・オンド首相によるダカール・国際フォーラム出席
- ECCAS臨時首脳会合の開催
- 第41回UNSAACの開催
- ボンゴ大統領によるCOP21出席

【経済】

- 第2回5年国債の発行
- ガボン政府による経済成長率の発表（4.2%）
- ガボン国債の格付け「B+」（フィッチ・レーティングス）
- 中国エグジム銀行による職業訓練協力

【内政】

1 ボンゴ大統領によるングニエ州訪問

2-3日、アリ・ボンゴ大統領は、「地方農業振興政策（GRAINE）」が正式に開始されたングニエ州を訪問し、右地域における道路インフラの建設現場を視察した。（3日付GR, 4日付UN）

2 第4回国家気候委員会の開催

19日、アリ・ボンゴ大統領は、大統領府にて、第4回国家気候委員会（Conseil national climat）を開催し、より効果的な気候変動対策の実施に向けて、国家機関の創設を要請した。（20日付UN）

3 ボンゴ大統領によるオイエム市長との会談

20日、アリ・ボンゴ大統領は、オイエム市長と会談し、2017年のアフリカ・ネーションズ・カップ開催に向けたスタジアム建設をはじめ、地方分権に係る法律の実施等について意見交換を行った。（20日付UN）

4 第3回ガボン・マラソン大会の開催

28-29日、リーブルビルにて、第3回ガボン・マラソン大会が開催され、12,000人のランナーが参加した。28日に実施された「la Gabonaise（女性ランナー用コース）」には、シルビア・ボンゴ大統領夫人が参加し、ガン予防啓発運動を行った。（28日付, 29日付UN）

【外政】

1 O I F派遣団によるガボン訪問

8月26－29日のジャン・ミカエル仏語圏国際機関（O I F）事務局長によるガボン訪問のフォローアップとして、3－5日、O I F派遣団がガボンを訪問した。右派遣団は、エマニュエル・イソゼ・ンゴンデ外務・仏語圏・地域統合大臣と会談し、来年の大統領選挙が透明性のある平和で民主的な選挙となるよう意見交換を行った。また、右派遣団は、国家通信委員会（C N C）、与野党と会談した他、市民社会とも意見交換を行った。（5日付U N）

2 コンゴ（共）大統領特使によるガボン訪問

アリ・ボンゴ大統領（E C C A S議長）は、サスン・ゲソ・コンゴ（共）大統領特使と会談を行い、中部アフリカ地域における安全保障等について議論を行った。（7日付U N）

3 オナ・オンド首相によるダカール・国際フォーラム出席

9－10日、オナ・オンド首相は、平和と安全に係る第2回ダカール・国際フォーラムに出席し、テロ・過激派の脅威、若年層の失業問題、教育、経済成長について議論を行った。また、オナ・オンド首相はサル・セネガル大統領と会談を行ったほか、濱地外務大臣政務官をはじめとする各国政府高官と会談を行った。（9日付U N）

4 ボンゴ大統領によるC O P 2 1ワーキングランチの出席

10日、オランダ仏大統領の招待のもと、アリ・ボンゴ大統領、ヤイ・ボニ・ベナン大統領、アルファ・コンデ・ギニア大統領、ジャン・マハマ・ガーナ大統領他はC O P 2 1ワーキングランチ（於：パリ）に出席した。（11日付U N）

5 ボンゴ大統領による移民問題を議論するE Uアフリカ首脳会合出席

10日、アリ・ボンゴ大統領は、移民問題を議論するE Uアフリカ首脳会合（於：マルタ）に出席し、移民問題について議論を行った。（11日付U N）

6 オナ・オンド首相による第9回経済フォーラム・アフリカ統合レセプション出席

24日、オナ・オンド首相は、第9回経済フォーラム・アフリカ統合レセプション（於：コトヌ）に出席した。右会合にて、オナ・オンド首相は、「台頭するガボン政策」が掲げるインフラ整備、情報通信技術の拡大、企業活動環境の改善が、経済多様化に貢献すると述べた。（26日付U N）

7 E C C A S臨時首脳会合の開催

25日、リーブルビルにて、中部アフリカ諸国経済共同体（E C C A S）臨時首脳会合が開催され、中アにおける選挙プロセス、選挙日程の確定、363万ドルの赤字予算の補填について議論が行われた。また、E C C A S加盟国は、国連安保理に対してM I N U S C Aのマンデート強化を要請するために代表団の派遣を決定した。E C C A S議長のアリ・ボンゴ大統領は、中アの政治的危機を長期的に解決する唯一の方法は選挙であるとして、10億C F Aフラン（約2億円）の選挙支援を発表した。（26日付U N、26日付G R）

8 第41回UNSAACの開催

23-27日、リーブルビルにて、第41回中部アフリカ安全保障問題に関する国連常設諮問委員会（UNSAAC）が開催され、テロ及び軽火器・小口径銃拡散に係る対処戦略が議論された。また、今次会合では、テロ及びボコ・ハラムの他に、密猟及び海賊対策の強化についても議論が行われた。第42回UNSAACは半年後にバンギにて開催予定。（23日付、24日付、25日付、26日付、27日付UN）

9 ボンゴ大統領によるCOP21出席

30日、気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）が開催され、ガボンからアリ・ボンゴ大統領、マッサール大統領府長官及びフロール・ミストゥル環境・天然資源・森林・海洋保護大臣が出席した。ガボンはアフリカ諸国のなかで気候変動対策に最も自発的に貢献している国であり、今次会合にて、環境に配慮した経済政策の可能性が探求される。（30日付UN）

【経済】

1 第2回5年国債の発行

3日、9月に発行された第1回5年国債に次いで、オナ・オンド首相は、第2回5年国債（利率6%）の発行を発表した。同国債は、リーブルビル都市計画及び郊外道路建設を目的に、800億CFAフランの借款計画に充てられる。（4日付GR）

2 ガボン政府による経済成長率の発表（4.2%）

4日、ガボン通貨・金融委員会が開催され、レジ・イモンゴ・タタガニ持続可能な経済開発・投資促進・計画大臣は、公共投資の遅延、森林産業の落ち込み、中部アフリカ地域における貿易悪化を考慮して、2015年の経済成長率は4.2%となる旨発表した。（5日付UN）

3 ガボン・FAO協力関係

4日、国際連合食糧農業機関（FAO）は、「家畜飼料増産に向けた畜産業促進に係る支援計画（総額2億3,580万CFAフラン）」を発表した。ガボン畜産局は、国立農業研究所（ONALA）とともに、16ヶ月間に亘り、家畜飼料増産を目的とした支援を実施する。（5日付UN）

4 ガボン国債の格付け「B+」（フィッチ・レーティングス）

フィッチ・レーティングスは、石油産業の落ち込みによる歳入低下を考慮しながらも、ガボン長期国債の格付けを「B+」、短期国債を「B+++」に維持した。（10日付UN）

5 国家金融委員会によるマネタリーサーベイの発表

6日、国家金融委員会（CNC）は、対外純資産の2.5%（1兆2,461億CFAフラン）減、国内信用の8.6%（1兆1,983億CFAフラン）増を発表し、ポストバンクを除き、ガボン金融業は概ね好調である旨発表した。また、貨幣流通高は2.3%（2兆1,979億CFAフラン）増加した。（10日付UN）

6 中国エグジム銀行による職業訓練協力

11日、レジ・イモンゴ・タタガニ持続可能な経済開発・投資促進・計画大臣は、北京において、中国輸出入銀行であるエグジム銀行（Exim Bank of China）との間で総額100,788,016.45ドル（約503億CFAフラン）の職業訓練協力に係る協定に署名した。右支援プロジェクトにより、オウェンド、ポールジャンティ及びフランスビルの3都市に職業訓練校が新規建設され、備品が整備される。（13日付UN）

7 森林分野における官民連携

11日、フロール・ミストゥル環境・天然資源・森林・海洋保護大臣は、官民連携事業に係る協定に合意し、森林分野の民間事業者に対する65.6億CFAフランの支援を決定した。右支援により、官民間の意見交換が促進され、森林産業の発展・雇用創出が期待される。（13日付UN）

8 ガボン湾海上鉱区入札の開始

24日、ガボン政府は、10月に開催された第22回オイル・ガス・ウィーク（於：ケープタウン）に続き、ガボン湾沖の海上鉱区5鉱区の入札を開始した。（25日付GR）

9 Sociga 社の経営破綻

16日、臨時株主総会にて、ガボン・タバコ会社（Sociga）は、43億CFAフランの負債を理由に、同社の解体を決定した。（26日付GR）

出典：PR（大統領府公式HP）、UN（ユニオン紙）、GM（ガボン・マタン紙）、GN（ガボン・ニュース電子版ニュース）、AFP、GA（Gabonactu.com）、GR（ガボン・レヴュー電子版ニュース）、LG（ル・ガボン電子版ニュース）、GE（ガボン・エコ電子版ニュース）